

〔科目名〕 経済変動論				〔単位数〕 2 単位		〔科目区分〕 専門科目 展開科目	
〔担当者〕 高尾 築 Takao Kizuku		〔オフィス・アワー〕 時間:初回授業でアナウンスする 場所:初回授業でアナウンスする				〔授業の方法〕 講義	
〔科目の概要〕 ミクロ経済学・マクロ経済学・経済数学の基礎をすでに習得した学生を対象に，中級以上のマクロ経済理論を講義します．時間の経過を考慮に入れた動学的な分析や，ミクロ経済学における最適化行動の理論（いわゆるミクロ的基礎づけ: <i>micro foundation</i> ）を取り入れる点が，基礎レベルの講義との大きな違いです．このような分析手法を用いて，将来予見の変化が家計や企業といった経済主体の意思決定にどのような影響を与え，それが現実のマクロ経済変数の動きにどう反映されるのかを考えます． 具体的な講義内容は以下の通りです． (1) ライフサイクルモデルに基づき，定額給付金や消費税増税が家計の消費行動に与える影響を考察します． (2) トービンの q 理論を中心に，金利環境の変化が企業の投資決定に与える影響を考察します． (3) 資産価格理論を学んだ上で，日本の金融政策運営の変遷を理解します． (4) 「成長会計」および「ソロー・モデル」を取り上げ，全要素生産性(TFP)や収束概念を理解します． また，適宜，関連する実際の経済データを紹介し，現実の経済課題について検討します．							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 これまでに学んだ経済理論や数学的手法を応用し，経済の動きや政策を理論的に考える力を養うことを目的としています．本講義は，金融経済学，ファイナンス理論，財政学，公共政策論など，マクロ経済学を活用する他の応用科目とも深く関連しています．大学院進学を目指す学生はもちろん，将来，官公庁や金融業界，データ分析などの分野で活躍したいと考えている学生にとっても，有意義な内容です．							
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <u>中間目標</u> ・数式を用いて時間推移を伴う分析を扱えるようになる． ・限界概念や最適概念を理解できるようになる． <u>最終目標</u> ・マクロ経済変数(消費，投資，金利，インフレ率等)の動きを分析するための手法・考え方を理解する． ・日本や世界各国の様々な経済現象を知り，メカニズムを踏まえて現実のマクロ経済政策課題を検討できる．							
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕							
学部				学科			
DP1 ○	DP2	DP3	DP4	DP1 ○	DP2 ○	DP3	
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 例年，受講生間の数学能力に著しい分散が認められるので，数学予備知識(具体的には，「指数・対数」，「微分(偏微分を含む)」，「ラグランジュ乗数法」)の確認を実施します．							
〔教科書〕 特に指定しない．							
〔指定図書〕 ・二神孝一・堀敬一，「マクロ経済学(第2版)」，有斐閣，2017 年 ・福田慎一，「金融論 - 市場と経済政策の有効性 新版」，有斐閣，2020 年							

・小林照義,「金融政策 (第2版)」,中央評論社, 2020年 ・西村幸浩,「財政学入門 (経済学叢書 Introductory)」,新世社, 2013年	
〔参考書〕 ・デビッドローマー (著),堀雅博 他 (翻訳),「上級マクロ経済学」,日本評論社,2010年 ・Pablo Kurlat (著),「A Course in Modern Macroeconomics」,Independently published, 2020年	
〔前提科目〕 ・ミクロ経済学, マクロ経済学, <u>経済数学</u>	
〔学修の課題、評価の方法〕 (テスト、レポート等) <u>持ち帰り小レポート(宿題)</u> を計2回実施する。また、授業内において小テスト(筆記試験)を1回実施する。 成績評価の比重は、小レポート合計40%, 小テスト60%である。小テストは <u>資料すべて持ち込み可</u> とする。	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 ・ハンドアウトに基づき、スライド投影と板書を併用して講義を行います。板書の綺麗さには定評があると自負しています。数学を使う場面が多いです。しかし、高度な数学知識は必要ありません。数式の取り扱い自体は他のどの授業よりも難しく見えるかもしれませんが、基本的には文字式が多いだけです。 <u>わかりやすく教えるので</u> , 加減乗除ができて、初歩的な指数対数・微分の知識があれば、大丈夫だと思います。 <u>ただし、経済数学単位未取得に相当する学生は絶対に受講しないでください。</u>	
〔実務経歴〕 該当なし	
授 業 スケ ジ ュ ー ル	
第1回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 成長会計(1)
第2回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 成長会計(2)
第3回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: ソローモデル(1)
第4回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: ソローモデル(2)
第5回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 消費のライフサイクルモデル(1)
第6回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 消費のライフサイクルモデル(2)
第7回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 消費のライフサイクルモデル(3)

第 8 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 新古典派投資理論
第 9 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: トービン q の理論 (1)
第 10 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: トービン q の理論 (2)
第 11 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 金融政策(1)
第 12 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 金融政策(2)
第 13 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 金融政策(3)
第 14 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 金融政策(4)
第 15 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: これまでの復習および総括と小テスト
試 験	実施しない